

電気工事に関心持って

県組合大曲支部 大曲工高で体験会



ケーブルの加工を体験する大曲工の生徒

組合員から教わりながら、専用の器具でケーブルの絶縁体を剥がし、ペンチを使って慎重に部品を取り付けた。駐車場では、電線工事などを行う高所作業車に乗車。安全ヘルムをつけて作業車に乗り込んだ生徒は、高さ10メートルで行われる作業の雰囲気を感じた。

参加した三浦喜一朗さん(15)は「丁寧に教えてもらったので、楽しく挑戦できた。これからの勉強や実習にも興味が増えた」と話した。

(佐藤和輝)

大曲仙北地域の電気工事業者でつくる県電気工事工業組合大曲支部(吉田利雄支部長)は、大仙市の大曲工業高校で電気工事の体験会を行った。電気科1年生70人が参加し、施工技術や方法に触れた。

体験会は、高校生に電気工事業界に関心を持ってもらい、人材確保につなげようと2016年から行い、7回目。

大曲支部に所属する組合員13人が講師を務め、6月22日に

大曲仙北地域の電気工事業者でつくる県電気工事工業組合大曲支部(吉田利雄支部長)は、大仙市の大曲工業高校で電気工事の体験会を行った。電気科1年生70人が参加し、施工技術や方法に触れた。

参加した三浦喜一朗さん(15)は「丁寧に教えてもらったので、楽しく挑戦できた。これからの勉強や実習にも興味が増えた」と話した。

(佐藤和輝)



高所作業車に乗り込み、地上約10メートルでの作業の雰囲気を感じた